

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 腎機能が甲状腺機能に及ぼす影響の解明－腎移植前後の比較検討』

研究機関名 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者 腎センター科 職位・氏名 准教授・村松 真樹

【研究の目的】

東邦大学医療センター 大森 病院 腎センター 科では、慢性腎臓病に甲状腺機能低下症を合併している患者様が少なからずいらっしゃることに着眼してきました。腎不全の方への腎代替療法の1つである腎移植の手術を受けた場合、術後には急激に腎機能が改善します。そのことが甲状腺機能にどのように影響するのか、腎機能の甲状腺機能への影響を明らかにすることを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、慢性腎臓病に合併する甲状腺機能低下症の発症機序や病態の解明につながります。また、研究に御協力をいただいた患者様に甲状腺機能異常が認められた場合には、結果を対象者に開示することにより早期に適切な治療に結び付けることができるため、病態治療による健康維持の観点からも大きな利益となります。ただし、研究参加をいただきました患者様の結果につきましては、原則的に結果の開示をご本人が希望された場合のみ、ご報告させていただきます。

【研究対象および方法】

この研究は、(医学部)倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者: 2018年4月～2022年3月までに東邦大学医療センター大森病院腎センター 科において、腎移植術を受けられた方

方法: 上記期間中に腎移植術を受けた方の血液検査の結果及び甲状腺超音波検査の結果を用い診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。具体的には、移植前、移植1カ月後、3カ月後、1年後に受けられた腎機能検査(Cr、eGFR)、甲状腺機能検査(甲状腺ホルモン等)の結果を分析し、病態との関連を解析します。また、移植前、1年後に行った頸部超音波検査による甲状腺の所見を確認していきます。これらの検査は、通常の移植後患者様に予定されていた定期検査であるため、この研究のために新たに設けられた検査ではありません。

【研究に用いられる試料・情報】

試料: 血液

情報: 頸部超音波検査で得られた所見、病歴、治療歴等診療録から得られた情報

【外部への試料・情報の提供】

東邦大学看護学部疾病医療学研究室 にパスワード付きのUSBメモリーで保管・提出された試料・情報等を、あなたの個人情報が分からないように管理します。

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学看護学部 疾病医療学研究室

研究代表医師: 湯浅玲奈 役職: 教授

【個人情報について】

